

生活・人生・生命

人は社会的動物です。無論、これほどの大社会を造らなくても生きてはいけるでしょうが、私たちは、森に戻って熊と共に暮らすことはもはやできません。

二世紀の情報科学技術基盤の 充実と新展開へ

コンピュータ、インターネット、マルチメディア、知能機械、これらによる新しい情報環境は今後の社会や産業、個人生活を支える重要な情報科学技術です。二〇世紀前半までの文明が主として機械により人間の物理的な力や速度を増幅させたのに対し、情報の科学技術は人間のコミュニケーションや知的能力を大幅に増幅させることができます。情報科学技術は生まれてから未だ五〇年位にしかありませんが、更なる今後の発展は目覚ましいことが期待されます。また、これまでの情報科学技術の主な対象が情報を扱う専門家向けであったのに対し、今後はあらゆる人が使い、あらゆる人がその恩恵に浴することを主目的としたものになってくると思われれます。

二世紀を迎えた二〇〇一年四月に新設された大学院情報理工学系研究科は、そのような社会を支えリードしていく専門家を育てると共に、世界に今後の新しい情報科学技術や考え方を提案していく活動の中核となるべく企画されたものです。同時に、目まぐるしく変化する情報ビジネスに携わっている企業の人々と密接な連携を持ち、時代の求める科学技術への観点を持ちつつ、社会へ今後の方向性を示すという役割も視野にあります。教育・研究面では、情報科学技術の基盤充実と新機軸の展開という、深さと広がりのある両面での充実と拡大を図っています。これにより従来の学問領域の枠を越えて新しい考え方や技術を産み出し、産業を先導すると共に、**ゆき**